



【建物概要】

建物名称：沖縄アスファルト試験センター
 所在地：沖縄県沖縄市海邦町3-7
 構造：鉄骨造 地上1階建
 敷地面積：16,300.00㎡
 建築面積：162.00㎡
 延床面積：148.75㎡
 竣工年月：2025年5月

沖縄アスファルト試験センター

当施設はアスファルト舗装の材料である混合物を作製し、主たる国内規格を評価できる試験機を取り揃えています。県内で舗装に携わる産官学の方々が舗装体現物を触り実務に活かせることができます。

昨今 地球温暖化対策として舗装業界においてもカーボンニュートラルへの取り組みが求められています。再生エネルギーの導入や省エネ（中温化）の推進などは進捗しつつありますが、材料そのものは遅れています。県内に埋もれている他産業発生材の舗装材料への適用など長期使用や再利用によって貢献できることが見込まれます。

業界を超えて誰でもアイデアや材料を持ち込み、形にしていく場として利用者の皆様に育てて下さい。

“アスファルト舗装の人をつくり、アイデアを実現する”



沖縄アスファルト試験センターの役割

01 >> アスファルト舗装の課題解決への貢献

本試験センターでは様々なアスファルト混合物を作製・評価できる試験機器を各種取り揃え、舗装課題の解決、新しい材料・技術の創造に寄与できる機能と設備を備えています。



アスファルト混合物供試体作製装置

各種アスファルトと骨材を組み合わせることで様々なアスファルト混合物を作製可能です。
集塵機・安全カバー等、作業環境にも配慮しています。



水浸兼用ホイールトラッキング試験機

沖縄県内で初めて導入するこの試験機は、温暖地域で特に懸念されるアスファルト混合物のわだち掘れ抵抗性（高温時の流動変形）の評価をはじめ、舗装の性能評価をする上で必須の試験機です。



圧劣試験機

今後の舗装発生材の再生利用の課題となっている再生骨材や再生アスファルト混合物の新しい評価試験機です。

その他 主要保有試験機

- ・マーシャル安定度試験機
- ・ロサンゼルス試験機（カンタブロ試験機）
- ・30kg アスファルト混合物ミキサー
- ・ローラーコンパクタ
- ・大型恒温送風乾燥機 × 2 台
- ・マーシャル突き固め機
- ・ロータップふるい試験機
- ・アブソン抽出・回収試験機
- ・ソックスレー抽出試験機
- ・アスファルト混合物の最大密度試験機 等

02 >> 研修施設としての活用

舗装に関わる技術者の育成・成長の場として、実際に「材料に触れる」「試験を体験する」ことで座学では得られない高い研修効果が期待されます。

また Web 対応可能なミーティングルームの併設により様々な地域・人とのグローバルなナレッジ・コラボレーションが可能となっています。



03 >> 開かれた施設による技術交流の活性化

本試験センターは「利用者の活動を支える場の提供」を目的とし、舗装関係者だけでなく誰もが自由に使えるオープンな施設とすることで産官学から様々なアイデアが持ち寄られ「発想をカタチにする場」として広く利用されることを目指しています。

また、事業者や学識者などによる舗装技術課題の情報共有と交流の場としての活用や、舗装に携わる人のすそ野を広げアスファルト舗装への関心を高めるための学生実習（インターン等）や舗装体験の場としても活用いただけます。

「各種試験機の導入」「研修施設としての活用」「技術交流の活性化」を通じて、沖縄県内における舗装技術に関する様々な課題の解決を図るとともに、地域全体の技術力の発展に寄与できる施設となることを願っています。

